

事務事業評価表(既存事業)

コード 13-3-3	事務事業名 高齢者講座(田無カレッジ)	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 いろいろな分野の学習を通して、学びの楽しさを知る。学習を楽しみながら、人間関係の輪を作る。交流を通して地域での活動の場を広げる。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)学習活動の推進(創3-2) (主要施策)公民館事業の実施
	実施内容、実施方法 「みんなで健康、楽しく学ぶ、友達の輪」をテーマとして、地域の中での仲間作りと、地域で元気に楽しく主体的に活動し続けていくことを狙いとした内容。	根拠法令等
	事業開始時期 平成 13 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 高齢者講座を開催した回数
	成果指標名 参加者数	成果指標の考え方(定義) 高齢者講座に参加した人数(定員40人、延べ520人)

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度
事務事業データ	事業費(A)		375	375	375	375
	国庫支出金	千円				
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		375	375	375	375
	所要人員(B)	人	0.10	0.10	0.10	0.10
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	825	827	833	833
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	1,200	1,202	1,208	1,208
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (開催回数)	千円	66.64	66.79	75.49	
歳入	千円					
活動指標	目標値	回			15	15
	実績値	回	18	18	16	
活動指標	目標値					
	実績値					
成果指標	目標値	人			600	600
	実績値	人	596	576	520	
成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	すべての講師が、一生懸命で、講座の内容も分かりやすかった。何をするにも、健康が第1なので、自己管理と人とのふれあいの大切さを心から感じた。
	国・都・他市・民間等における類似事業	個人個人の学習要求を満たす講座はあるが、それに人と人とも結びつきを加えた講座はあまりない。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 13-3-3	事務事業名 高齢者講座(田無カレッジ)	所管部課 生涯学習部保谷公民館
---------------	------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	この講座からいくつものサークルが出来上がり、活発に活動が行われている。地域へのデビュー講座として極めて高い実績がある。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	2年後には団塊の世代が、地域に戻ってきます。これから先、地域で生活するためにも、きっかけとなるこの講座の必要性は大きくなる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市内の講師等をお願いし、先生と生徒の枠をはずし、それぞれを尊重しながら進めている内容は、最大の効果を挙げている。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	初めて参加する人たちを優先している。多くの人と交流できるよう、グループ分けも数回にわけ実施し、仲間作りへの手助けを行っている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	これから団塊の世代が、地域で活動することが多くなる。これまで地域での活動がなかった人たちを対象にした、この講座は今後ますます必要である。またこれらの人を講師として今までの経験を話してもらうなど、講座の意味合いは重要度を増す。

17年度における改善点	班内のコミュニケーションが取れるよう、最初に実技的要素を持ってきた。毎回の日誌も、みんなで話し合っって書くよう班内でできるだけ多く、話せる時間を作る。
-------------	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など

必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など

効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など

公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など

総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。

拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。

継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。

改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。

抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。

廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。